

平成 29 年 5 月 12 日

長野県臨床衛生検査技師会  
ご担当者 様

一般社団法人  
日本糖尿病療養指導士認定機構  
理事長 寺内 康夫

## 日本糖尿病療養指導士の認定更新に関するお願い (研修会等開催時の「参加証等」の発行について)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本機構に格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本機構では「日本糖尿病療養指導士 (CDEJ)」の認定をおこなっておりますが、認定は 5 年ごとの更新とし、更新の要件のひとつとして、学会・研修会等で一定の単位を取得することを定めております。

本機構では、各職種がそれぞれの専門性を発揮しながら、チームとして糖尿病患者の療養指導に従事することが大切であると考えております。このため、研修単位は<第 1 群>自己の医療職研修単位 (職種別)、<第 2 群>糖尿病療養指導研修単位 (職種共通) の 2 本立てとし、<第 1 群><第 2 群>それぞれ 20 単位の取得を更新の要件としております。

なお、<第 1 群>の対象となる学会・研修会等につきましては、基礎となる医療職の各学会・団体からの提案を受けて定めたものです。各職種の専門性を高めるとともに、研修機会をできるだけ多くする狙いで、職種毎に、様々な学会・研修会を単位取得対象として定めております。

さて、同封いたしました資料 1「研修単位一覧表」に記載しておりますとおり、貴会主催・共催の研修会で単位取得が可能となっております。

単位の取得状況については、各主催団体が発行する「参加証等」によって確認することにしております。ご多忙のところ、勝手なお願いで誠に恐縮ではございますが、貴会で主催・共催される研修会等におきましては、「参加証等」の発行をぜひお願いいたします。例年のお願いとなりますが、何とぞ事情ご賢察のうえ、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。もし、「参加証等」の発行が難しい場合は、「学会・研修会等出席証明書」への押印にぜひご協力をお願い申し上げます。(従来ご協力いただいております皆様には、この場をお借りして感謝を申し上げますとともに、度々のお願いとなりますことをご容赦いただければ幸甚に存じます。)

「参加証等」の様式、その他研修単位の認定方法等につきましては、資料 2「日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) 認定更新のための研修単位について」をご高覧いただければ幸いに存じます。何かご不明の点がございましたら、事務局までお問い合わせください。本機構のパンフレットを同封いたしますので、ご一読いただければ幸いです。

糖尿病に関する知識・技能・経験を備えた CDEJ が各地に増えることにより、わが国の糖尿病医療のレベルは飛躍的に向上すると確信しております。ぜひとも本制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、貴会のますますのご発展を祈念申し上げます。

敬具

〈第 1 群〉 自己の医療職研修単位

〔 4 〕 臨床検査技師

コード	研修項目	出席	発表(加算) 生涯研修 (論文)	備考
1-01	日本医学検査学会	4	2	
1-02	日本臨床衛生検査技師会（日臨技）主催・共催 研修会	4	2	
1-03	医療研修推進財団 臨床検査技師 教育施設指導者研修会	4	2	
1-04	（日臨技）地区医学検査学会	0.5-3	2	単位数は実質研 修時間数・日数 により異なる （欄外参照）
1-05	（日臨技）地区主催・共催 研修会	0.5-3	2	
1-06	都道府県 医学検査学会	0.5-3	2	
1-07	都道府県臨床（衛生）検査技師会主催・共催 研修会	0.5-3	2	
1-08	臨床検査に関連する学会・研究会 ※全国学会のみ	1	2	全 138 学会の指 定あり
1-09	国際医学検査学会	4	2	
1-10	アジア医学検査学会	4	2	
1-11	日本臨床衛生検査技師会が認定する研修会等	0.5-2	2	
1-12	日本臨床衛生検査技師会 生涯教育研修制度修了証書取得		20	
1-91	臨床検査に関する、雑誌・本等の掲載論文（筆頭者）		(4)	
1-92	臨床検査に関する、雑誌・本等の掲載論文（共著者）		(2)	

実質研修時間数・日数により単位数が異なる項目の、単位数について

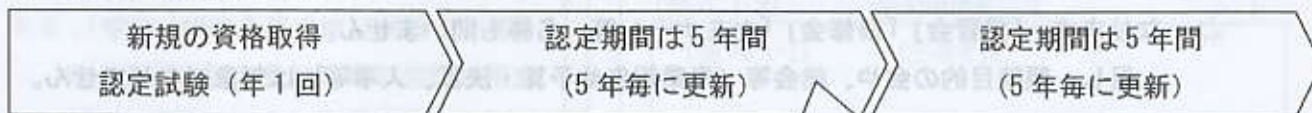
- ◆1 日の場合 1.5 時間～3 時間未満：0.5 単位、3 時間～6 時間未満：1 単位、6 時間 以上：2 単位
- ◆2 日以上 3 単位

## 〈第 2 群〉糖尿病療養指導研修単位

コード	研修項目	出席	発表(加算) (論文)	備考
2-01	日本糖尿病療養指導士認定機構主催の講習会	8		★必須 8 単位
2-02	日本糖尿病学会年次学術集会	4	2	
2-03	糖尿病学の進歩	4	2	
2-04	日本糖尿病学会 各支部地方会	4	2	
2-05	日本糖尿病合併症学会	2	2	
2-06	日本糖尿病・妊娠学会 年次学術集会	2	2	
2-07	日本糖尿病眼学会 総会	2	2	
2-08	日本病態栄養学会 年次学術集会	4	2	
2-09	日本糖尿病教育・看護学会 学術集会	4	2	
2-10	日本糖尿病協会 療養指導学術集会	4	2	
2-11	A A D E 年次学術集会	2	2	
2-12	I D F 会議 学術大会	2	2	
2-13	I D F - W P R 会議	2	2	
2-14	認定機構が認定する「認定更新のための研修会」	0.5-2	0.5-2	★上限 8 単位 (発表(加算)含む) 発表(加算)単位数は出席単位数と同じ単位数
2-15	日本糖尿病情報学会 年次学術集会	2	2	H23 年度以降のみ対象
2-16	日本くすりと糖尿病学会 学術集会	2	2	H24 年度以降のみ対象
2-91	糖尿病療養指導に関する、雑誌・本等の掲載論文(筆頭者)		(4)	
2-92	糖尿病療養指導に関する、雑誌・本等の掲載論文(共著者)		(2)	

## 日本糖尿病療養指導士（CDEJ） 認定更新のための研修単位について

### 1. CDEJ 認定制度の概要



#### ◆認定更新の要件

- ① 通算 3 年以上、一定の施設で医師の指示の下で糖尿病療養指導の業務に従事。
- ② 本機構主催の講習会に 1 回以上出席。
- ③ **自己の医療職研修 20 単位** および **糖尿病療養指導研修 20 単位** を取得。
- ④ 糖尿病療養指導の自験例 10 例以上。

#### ◆認定更新の手続き（指定の書類を提出）

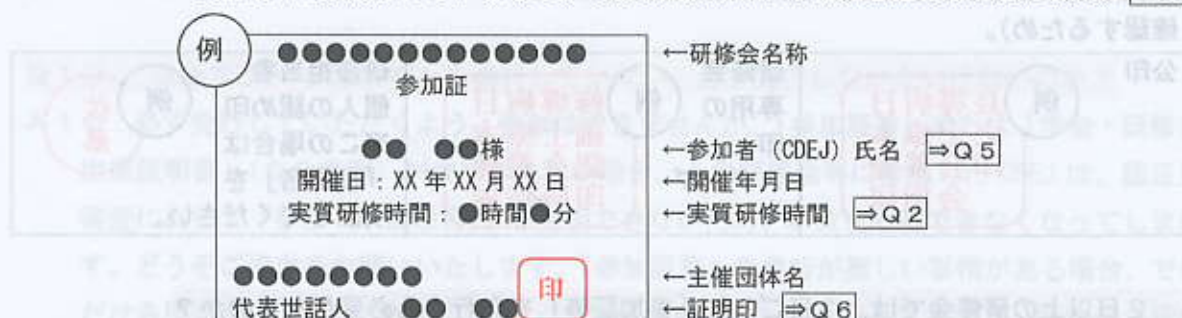
- ★ 糖尿病療養指導業務に従事した証明書
- ★ 「取得単位自己申告書」
- ※ 「単位取得の証明資料」を添付
- ※ 取得した単位を 5 年分まとめて申告
- ★ 糖尿病療養指導自験例の記録
- ★ その他

### 2. 研修単位の取得方法と、単位取得の証明資料

研修単位の取得方法	単位取得の証明資料
(1) 学会・研修会等の出席 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学会・研修会等の名称を指定しているもの</li> <li>② <b>主催・共催団体名を指定しているもの</b></li> <li>③ 学会・団体が認定したもの</li> </ul>	<b>参加証等</b>
(2) 学会・研修会等での発表・講演	発表資料（抄録・プログラム等）
(3) 雑誌・本等への論文掲載	掲載誌の執筆部分
(4) 各種認定・生涯研修制度	各制度による認定証等

### 3. 参加証等とは？

- ★ 学会・研修会において、主催者から参加者に発行される、「参加の証拠」となるもの。
- ★ 「参加証」「修了証」等、名称は問わない。下記「必須記載項目」が網羅されていれば、「（参加費）領収書」でも可。
- ★ 「研修会名称」「開催年月日」「主催団体名」「参加者（CDEJ）氏名」の 4 項目（必須記載項目※）が記載されているもの。「実質研修時間」の記載も必要な場合がある。⇒Q 3



※必須記載項目が網羅されていない場合は、その他資料の補足により網羅されれば可。

（例）参加証等に実質研修時間が記載されていない→プログラム等を補足

参加証等に関するQ&A

Q1：糖尿病療養指導に関係のない研修でも単位取得対象になるのか？

A1：＜第1群＞は「自己の医療職研修」なので、内容は問わず、各職種の研修目的なら対象になります。「講習会」「研修会」「セミナー」等、名称も問いません。  
但し、親睦目的の会や、総会等（事業報告や予算・決算、人事等）は対象になりません。

Q2：実質研修時間とは？

A2：「挨拶・休憩・企業の製品紹介」等の時間を除いた「正味の研修時間」です。オリエンテーション、質疑応答等は含みます。

Q3：「実質研修時間の記載が必要な場合」とは？

A3：実質研修時間（2日以上の場合は、日数）により単位数が異なる項目は、実質研修時間（日数）の記載が必要です（資料1参照）。  
単位数が固定されている項目については、実質研修時間（日数）の記載は不要です。

Q4：事前に申し込んだ人に配布する「受講券」等は、「参加証等」として有効か？

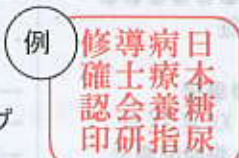

A4：大変申し訳ありませんが、事前に配布されるものは「当日、確かに参加したこと」の証明にはならないため、「参加証等」として認めていません。  
但し、「受講券」等に当日、受付印の押印やチェックなどをされた場合は、「参加証等」として認められます。

Q5：「参加証等」には参加者の氏名を記入して配布しないといけないのか？

A5：そうしていただければありがたいですが、無記名のまま発行し、参加者自身が記入する形でも問題ございません。「氏名」欄は必ず設けていただけますようお願いします。

Q6：「証明印」とは？

A6：公正性を担保する観点から、できるだけ各主催団体の公印もしくはそれに準ずる印（主催団体名の入った印）を押印していただくようお願いしております。それが難しい場合は、研修会専用の印（スタンプ）、それも難しい場合は、各研修会担当者（研修部門の担当者や、当該研修会の企画担当者）個人の認め印でもよいこととしています。但し個人の認め印の場合は、その方の役職名を必ずご記入ください（確かに主催者から発行されたものであることを確認するため）。

<p>公印</p> <p>例 </p>	<p>研修会専用の印・スタンプ</p> <p>例 </p>	<p>研修担当者個人の認め印 ※この場合は「役職名」を明記してください。</p> <p>例 </p>
--	--	---

Q7：2日以上研修会では、1日ごとに「参加証等」を発行する必要があるのか？

A7：「1つの研修会について、1枚」でけっこうです。2日以上の場合は、できるだけ開催期間または日数の記載をお願いいたします。

Q 8 : 「学会・研修会等出席証明書」とは何か？

A 8 : 「学会・研修会等出席証明書」(右図)は、主催者側で参加証等の発行の用意がない場合に、参加者(CDEJ)から証明を求める時に使っていただくため、CDEJに配布してあるものです。

参加者があらかじめ研修会名・開催日等を記入しますので、主催者には主催者名の記載および主催者印の押印のみをお願いいたします。

3枚複写(主催者控・認定機構提出用・出席者控)になっていますので、3枚それぞれ押印後、「認定機構提出用」と「出席者控」を参加者にお渡しください。「主催者控」は、主催者側で必要があればご活用ください。(必要がなければ破棄していただいても構いません。)

Q 9 : 研修会の当日に「参加証等」を発行しなかったところ、事後に郵送で求められた。事後の発行は有効か？

A 9 : 主催者側でその方の参加が確認できれば、事後の発行でもかまいません。(同様に、紛失等による再発行も問題ありません。)ただし、各団体で事後の対応が難しい場合は、お断りになっても差支えありません。ご負担にならない形でご協力をお願いいたします。

Q 10 : 当会では、「参加証等」を発行していない。必ず発行しないとイケないのか？

A 10 : 必ず発行していただくよう、強制はできませんが、「参加証等」または「学会・研修会等出席証明書」(Q 8参照)が発行されない場合、その研修会等に参加したCDEJは、認定更新審査において「参加(単位取得)」を証明できないため、単位を取得できなくなってしまいます。どうぞご協力をお願いいたします。「参加証等」の発行が難しい事情がある場合、できるだけ各団体のご負担とならないよう、本機構で対応したいと存じますので、個別にご相談いただければ幸いです。

※その他、ご不明の点がございましたら、事務局(TEL:03-3815-1481)までお問い合わせください。

**「学会・研修会等出席証明書」の見本**

(様式 1-3) (出席者控)

(様式 1-2) (認定機構提出用)

(様式 1-1) (主催者控)

学会・研修会等出席証明書 (取得単位申告用)

お名前 \_\_\_\_\_

研修会名 : \_\_\_\_\_

主催者名 : \_\_\_\_\_

開催日 : 平成\_\_年\_\_月\_\_日  
(~\_\_年\_\_月\_\_日)

実質研修時間 : \_\_\_\_\_時間\_\_\_\_分

あなたが上記の研修会に出席したことを証明します。

平成\_\_年\_\_月\_\_日

主催者名 \_\_\_\_\_ 主催者印 \_\_\_\_\_

主催者名の記載・主催者印の押印をお願いします。「主催者印」は主催団体の印が望ましいですが、難しい場合は「研修担当者個人の認め印でも結構です(ただし、この場合は「主催者名」欄に団体名のみでなく研修担当者の役職とお名前(フルネーム)の記載もお願いします)。